

潮寿荘 だより

青木 遼也



令和3年10月16日発行
発行：特別養護老人ホーム 潮 寿 荘
記事：10月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：青木遼也(29歳) 介護士

敬老会



9月20日敬老の日、潮寿荘でも敬老会が開催されました。今年もコロナ過のためご家族の来荘やゲストによる催しを控えることとなりましたが、その分職員が皆さんを盛り上げるために奮闘しました。潮寿荘の90歳以上の方は全部で21名。全員舞台上上がる事はできないので、100歳のキヨ(柳)さんと由忠さん、99歳白寿はキヨ(成)さん、米寿は2名いるので代表でシゲ子さん、

90歳以上代表でタカさんが舞台上上がり、色紙の贈呈を受けました。色紙は職員が心を込めて書いたメッセージや絵です。

「戸井幼稚園」の皆さんから頂いた大きくて可愛いメッセージカードも贈呈しました。クレヨンで書かれた「おじいちゃん、おばあちゃんへ、ながいきてね。あついとさわやさんでね。さむいときわ、あつたかいのきてね」の文字に癒されました。戸井幼稚園の皆さんありがとうございました。次は職員によるアトラクション！



セツさん



初枝さん



みえ子さん



まずは毎日食事前に行っている口腔体操からスタート。いつもとは違う言葉遊びを入れた特別バージョンで口の筋肉をほぐしておきます。続きましてメインアトラクションの筋肉体操！テレビでおなじみの「筋肉は裏切らない！」のナレーションの中で大きくペースダウン。斎藤さんはへたれてました。普段、筋肉体操を見ていない入居者さんは何をやっているのかなあ、という雰囲気もありましたが、頑張っている事は伝わりました。そして三人は最後に芸人のロバート秋山さんがよくやる「モノマネTシャツ」のネタを当施設長の顔で披露し筋肉体操は終わりました。(後日筋肉痛になったのは斎藤さんでした。)



最後のトリは施設長による恒例の南京玉すだれ、今年はお上を私が務めました。初めての大会で緊張し、すだれの糸が切れるというトラブルもありましたが何とか完遂することが



「かんぱい」と由忠さんW乾杯にして下さいました。乾杯の後は皆さんお待ちかねの食事タイム。今年のメニューは「生サーモン入り五目ちらし寿司、エビフライ、ほうれん草のごま和え、お吸い物、芋ようかん」です。生サ

出来ました！アトラクションが終わりのよいよ会食。乾杯の音頭は百寿の由忠さん。「それでは皆さんご唱和ください、かんぱーい！」と力強く乾杯。すぐに「1回じゃ足りない、もう一度かんぱーい」と由忠さんW乾杯にして下さいました。乾杯の後は皆さんお待ちかねの食事タイム。今年のメニューは「生サーモン入り五目ちらし寿司、エビフライ、ほうれん草のごま和え、お吸い物、芋ようかん」です。生サ



筋肉体操



11月の予定

1日 鍋会食
(キムチチゲ)

2~11日 紅葉ドライブ

3日 講師来荘
花クラブ

4日 誕生会

15日 鍋会食(みそちゃん)

17日 講師来荘
花クラブ
特別喫茶
(ホットケーキ)

20日 OTリハビリ

23日 勤労感謝の日
バイキング

29日 鍋会食(三平汁)

「モンが入っているとほんとも豪華な五目ちらしです。もちろん皆さん残さず召し上がっております。後日、感想をお聞きすると「楽しかったけど、家族と一緒に見たかった」「来年は家族と一緒に祝いたい」などご家族と過ごされたいという思いが強かったです。昨年同様施設の職員のみで行われた敬老会。来年こそはご家族、地域の子供たちも参加できるように環境になっていることを祈っております。
(突然黒髪から金髪にイメチェンし不良と呼ばれる介護士・池浦)

黙々と食べる男性陣



★面会について★
コロナワクチンを2回接種した方に限り直接面会を再開する事になりました。人数は一度に2名までです。消毒、換気などの関係で今後も事前予約下さいますようお願いいたします。また感染拡大などの状況によっては、直接面会を継続できなくなる可能性もありますこと、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

お月見

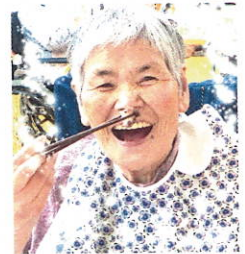
9月21日、火曜日。今日は十五夜です。天気予報によると函館は中秋の名月が楽しめるようです。入居者様にも満月を楽しんで頂ければと思っておりますが丁度その頃には皆様スヤスヤと深い眠りについている時間帯。そこで今年は季節を感じて戴けるよう工夫して夕食前に行う事になりました。さて16時に近づき入居者様も夕食に備えて介護士と共にホールに出てこられました。皆様勢揃いされ(圧巻!!!)我らがスター石岡介護士の司会により、潮寿荘手作り満月を愛でながら、俳句を詠み『ふかし芋』や『茹できみ(とうもろこし)』、『月見団子』を「美味しい」



「んまい!!」と杏寿朗さま(鬼滅の刃)のごとく召し上がっていました。いつもは少食な栄子さんもふかし芋を手に取り笑顔で召し上がっており、嬉しかったです。最後は潮寿荘の松山千春もどき石岡介護士が「♪出えたあ、出えたあ月があ〜♪」と外れた音程でリードし、入居者様も外れながら合唱。無事に十五夜を楽しみむ事ができました。その後すぐに夕食『月見うどん』だったので食べられるかなと心配しましたが、入居者さんつるりと完食されていきました。めでたし、めでたし。(秋ドラマが始まって新しい楽しみが出来た介護士・中坂)



おはぎバイキング



9月23日、秋分の日。潮寿荘ではおはぎバイキングが行われました。種類は毎年恒例の『あんこ』『ごま』『きなこ』の三種で、全部で二百個ほどのおはぎが作られていました。



いつもならあんこが一番人気で最初に無くなるのですが、今年は施設長がこだわって作ったゴマが一番に無くなっていました。施設長は「今年はこだわったのよ」とドヤ顔で話されていました。皆様も「おはぎた。皆様も「おはぎ

おいしいね」などと話され満足されていたので良かったです。コロナが続き、外にも出られないので施設内で行うイベントは皆様に楽しんでいただけるように職員一同頑張っています。
(来年札幌への移住を考えている介護士・尾上太)



これから肺炎球菌の予防接種をしていく予定です。